

## 1. 背景

- 機器保守期限の到来によるサービス検討
  - ・ 市電は、全国交通系ICカードの保守期限を令和8年3月に迎える
  - ※バス事業者は令和7年3月だが、市電は1年延長予定
  - ・ バス事業者や県・市などの関係者と利便性・経済性・将来性の観点で検討を開始し、数年にわたり協議を行ってきた。
  - ・ 個々の事業者で結論を出すのではなく、熊本都市圏における公共交通の決済環境統一を目指して検討。
  - ・ 交通局としては、全国交通系ICカードの維持を最優先に検討を行ってきたが、更新費用も含めたシステム維持への投資は経営上大きな懸念材料。

### 協議結果

バス等と共に、全国的に普及期にあるクレジットカードのタッチ決済と、地域の独自性のある施策を盛り込めるくまモンのICカードを決済手段とする新端末・新システムで決済環境を統一する。

### 経済性

現在と同一環境を維持するためには約2億円が必要であるが、新たに導入する決済機器は約1.1億円ですぐ更新が可能

### 利便性・将来性

バス等と決済システムを統一することにより、これまでできなかった市電とバスの乗継割引や共通定期、上限設定割引、観光施設や商業施設とのセット割引等、様々な連携策の実施が可能

懸念事項 **✓ 全国交通系ICカード利用中の皆様のスムーズな切替**

- 全国交通系ICカードの利用者が多い熊本市電においては、バス事業者以上に円滑な転換に向けた周知、丁寧な説明が必要。

<利用状況（令和5年度実績）>

全国交通系ICカード：35.8%、IC定期券（全国交通系IC）：14.7%、  
 モバイル定期券：6.4%、くまもんICカード：4.3%、  
 おでかけICカード（くまもんIC）：8.3%、タッチ決済：1%、  
 QRコード決済：1.6%、現金：22.9%、その他：5%

## 2. 事業費

○ 総事業費：約1.1億円

## 3. イメージ図

【現在】			【令和8年4月以降】		
決済の種類	利用	決済環境	決済の種類	利用	決済環境
全国交通系ICカード 	○		全国交通系ICカード 	×	全国交通系ICカードの利用は終了 (こモカ定期も終了)
くまモンのICカード 	○		くまモンのICカード 	○ 継続	<p>イメージ図</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ くまモンのICカード</li> <li>・ タッチ決済</li> <li>・ くまモン! Pay</li> </ul> <p>・ QRコード決済</p> <p>・ QRコード認証</p> <p>&lt;定期券について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ くまもんICカードで定期券を導入予定</li> <li>・ モバイル定期券は継続</li> </ul> <p>&lt;乗車券について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モバイル乗車券等も継続</li> </ul>
タッチ決済 	○		タッチ決済 	○ 継続	
QRコード決済 ※PayPay等	○		QRコード決済 ※PayPay等	○ 継続	
くまモン! Pay	×	なし ※未実装	くまモン! Pay	NEW ○	
QRコード認証 	×	なし ※未実装	QRコード認証 	NEW ○	

## 4. 今後のスケジュール

- 令和7年度（時期未定） 予算要求
- 令和8年3月まで 導入準備
- 令和8年4月 新たな運賃支払い方法で運用開始

**現時点では本方向性が望ましいと考えているものの、今般の市民の皆様の声も踏まえ、バス・電鉄電車の状況や国・全国交通系ICカードの動向も注視し、また、本特別委員会や公共交通協議会等でご議論いただきながら見極めていく**